

平成27年12月18日  
 阪神高速道路株式会社

## 第11期(平成28年3月期)中間決算の概要

### 1. 連結決算の概要

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	平成27年 中間期 (A)	平成26年 中間期 (B)	増減		平成28年 3月期 通期見通し	平成27年 3月期 通期実績
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)		
<b>営業収益</b>						
<b>高速道路事業</b>	954	884	70	7.9%	2,554	1,992
料金収入等	867	859	8	1.0%	1,726	1,712
道路資産完成高	86	25	61	245.9%	828	280
<b>関連事業</b>	43	42	0	2.2%	118	216
受託事業	23	20	2	13.7%	59	157
その他の事業(注)1	20	22	▲1	▲8.2%	59	59
セグメント間取引消去	▲0	▲0	▲0	-	-	▲0
	997	926	70	7.7%	2,673	2,208
<b>営業費用</b>						
<b>高速道路事業</b>	924	873	50	5.8%	2,546	1,979
道路資産賃借料	648	662	▲14	▲2.1%	1,296	1,318
道路資産完成原価	86	25	60	242.2%	827	273
管理費用	189	185	3	2.0%	422	388
<b>関連事業</b>	40	40	0	0.2%	112	209
受託事業	23	20	2	12.6%	59	155
その他の事業(注)1	17	19	▲2	▲12.8%	52	54
セグメント間取引消去	▲0	▲0	▲0	-	-	▲0
	964	913	50	5.5%	2,658	2,188
<b>営業利益</b>						
<b>高速道路事業</b>	30	10	19	183.5%	8	12
<b>関連事業</b>	2	1	0	42.9%	6	6
	32	12	20	161.3%	14	19
<b>経常利益</b>	34	15	18	112.9%	17	25
<b>親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益</b>	29	13	15	109.2%	12	25

(注)1 関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業等を含んでおります。

2 平成28年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

### 2. 料金収入及び通行台数実績

項目	平成27年 中間期	平成26年 中間期	増減率
料金収入(億円)	864	857	0.9%
一日当たり通行台数(全体)(千台/日)	746	735	1.5%
一日当たり通行台数(普通車)(千台/日)	681	672	1.3%
一日当たり通行台数(大型車)(千台/日)	65	63	3.6%

### 3. 事業の状況

#### (1) 高速道路事業

##### 【業績の概要】

- 阪神高速道路の一日あたり平均通行台数は、74.6万台(前年同期比1.5%増)と増加傾向となり、この通行台数増加の影響等により料金収入は864億円(前年同期比0.9%増)
- 道路資産賃借料は、648億円(前年同期比2.1%減)
- 道路資産完成高は、86億円(前年同期比245.9%増)
- この結果、高速道路事業において営業収益は954億円(前年同期比7.9%増)、営業費用は924億円(前年同期比5.8%増)、営業利益は30億円(前年同期比183.5%増)となりました。

##### 【主なトピックス】

- 平成27年10月に会社設立10周年を迎えるにあたり、“新たなステージへ！～徹底したお客さま目線で安全・安心・快適～”を当社グループスローガンに掲げ、今年度より新たに特定更新等工事に着手するとともに、阪神高速3号神戸線(深江～武庫川)において終日通行止めによるフレッシュアップ工事を行うなど、安全・安心な道路構造物の維持管理を進めました。
- ミッシングリンクの解消に向け、淀川左岸線(海老江JCT～豊崎)や大和川線(三宝JCT～三宅西)の整備を推進するとともに、西船場JCT(信濃橋渡り線(仮称))の整備促進に努めました。

#### (2) 受託事業

##### 【業績の概要】

- 大阪府道高速大和川線に係る工事受託等により、営業収益は23億円(前年同期比13.7%増)、営業費用は23億円(前年同期比12.6%増)、営業損失は25百万円(前年同期は営業損失41百万円)となりました。

#### (3) その他の事業

##### 【業績の概要】

- 休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業等を展開したことにより、営業収益は20億円(前年同期比8.2%減)、営業費用は17億円(前年同期比12.8%減)、営業利益は3億円(前年同期比28.8%増)となりました。

##### 【主なトピックス】

- 交通制御及びITS、道路・橋梁維持管理、トンネルに関する技術交流推進のため、平成27年7月24日に、モロッコ国内の有料高速道路ネットワークを所轄し、その建設・運営維持管理を担うモロッコ高速道路会社と技術交流に関する覚書を締結しました。

**(参考)平成27年中間期の個別業績について**

(単位:億円、単位未満切捨て)

項目	平成27年 中間期 (A)	平成26年 中間期 (B)	増減		平成28年 3月期 通期見通し	平成27年 3月期 通期実績	
			金額 (A-B)	率 (A-B)/(B)			
営業収益	高速道路事業	951	882	69	7.9%	2,549	1,986
	料金収入等	864	857	7	0.9%	1,721	1,706
	道路資産完成高	86	25	61	245.9%	828	280
	関連事業	31	28	2	8.7%	79	175
	受託事業	23	20	2	13.7%	59	157
	その他の事業	8	8	▲ 0	▲ 3.2%	20	18
	983	911	72	7.9%	2,629	2,162	
営業費用	高速道路事業	922	870	51	5.9%	2,546	1,981
	道路資産賃借料	648	662	▲ 14	▲ 2.1%	1,296	1,318
	道路資産完成原価	86	25	60	242.2%	827	273
	管理費用	187	182	4	2.5%	422	390
	関連事業	29	27	1	5.2%	75	170
	受託事業	23	20	2	12.6%	59	155
その他の事業	5	6	▲ 1	▲ 16.7%	15	15	
	951	898	52	5.9%	2,622	2,152	
営業利益	高速道路事業	29	11	18	155.7%	2	5
	関連事業	2	1	1	89.0%	4	4
	32	12	19	149.6%	7	9	
経常利益	34	15	18	121.6%	9	13	
中間(当期)純利益	29	9	20	213.4%	8	13	

(注) 平成28年3月期の通期見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。